

市議会 だより

VOL.202

2024.

2

Contents

特集	2
第4回定例会 議案の概要	4
一般質問	8
TOPICS	16
活動レポート	18
市民の声／次回定例会	19

特集

まちづくり会社の素顔と描く未来



上岡議員、景山議員が聴く まちづくり会社の 素顔と描く未来

表紙写真／話をお聞きした新川さん

安芸津町で立ち上がったまちづくり会社。
今回は、本業の会社経営とまちづくり会社の
運営という二足の草鞋^{わらじ}を履く新川さんにお話を
聞かせていただきました。家族を持つ現役世代
としてどういう地域を目指しているのか伺いま
す。

話をお聞きした方



合同会社トモシビファーム
代表社員 新川 隼人さん

あきつとあしたに、合同会社トモシビファーム 仲間と描く「未来」をカタチに

Q まちづくり会社発足の背景
について教えてください。

新川 まちづくり会社「合同会社トモシビファーム」を立ち上げる前は、本業である建設会社として※「コワーキングスペース third（サード）」を運営していました。「コワーキングスペース

を開設する際は、「地域の今後について、みんなで話し合える場所があった方がよい」という周りからの声があり、異色の経歴を持つ方々に相談したところ、アドバイスを頂くことができた。その後、色々なイベント企画を行っていたのですが、ま

ちづくりということを考えると、新たに別の団体を作った方がよいのではない、地域課題の解決事業として東広島市が取り組んでいる「※トルク事業」を通じて会社を設立しました。
Q 立ち上げからの取組みについて教えてください。

新川 大きくは2つあります。最初にやろうと考えていたのはポータルサイトを作ることなのですが、こちらはもう完成しました。このサイトを作ろうと思った背景としては、インターネットで安芸津町を検索したときに、特産品や観光スポットなどの情報は出てくるのですが、魅力的な人や、その人たちがしている仕事、価格的に手が届く空き家物件の紹介など、情報発信できるものは他にもあるのではと思ったからです。2つ目の取組

※コワーキング

トルク事業

異なる職業や仕事を持つ人が事務所スペースや会議スペースなどを共有しながら独立した仕事をする。全国のスタートアップ企業や複業人材などからアイデアや解決策を持ち寄りながら、地域の団体や住民などと一緒に地域課題の解決を行う協創プロジェクト



- ① 取材風景
- ② ブランディング事業のメンバー
- ③ ブランディング事業でのワークショップ
- ④ ポータルサイトの冊子
- ⑤ ポータルサイトのQRコード
- ⑥ 「手zukuriハンドメイド」販売イベント

みとしては、地域おこし事業の一環として月に1回、まちづくりに関するワークショップを開催しています。中国経済産業局が手掛ける「中国地域ブランディングプロジェクト」というのがありますが、このプロジェクトは中長期的に「地域をこうしていきたい」という展望を皆で考えていく取組みで、ありがたいことに事業採択していただきました。町内メンバーは勿論のこと、安芸津の魅力を更に見出すため、安芸津愛あふれる町外在住の方たちにも参加していただいています。地元に住んでいると当たり前と思って見落としがちな魅力が、町外の方のアンテナにひっかかったりします。

Q 取組みの中で大切にしていることは何ですか？

新川 やっぱ持続性は大事だと思っています。新型コロナウィルスによって社会全体が大きく影響を受けている時に改めて感じたのですが、飲食業などは物凄く影響を受けている中、僕

たち建設業界は影響を受けにくい業界でした。会社の存続といたった目線ではありがたい話なのですが、地域の持続性を考えると自分たちだけが助かればいいわけでもなく、みんなが良くなっていけないと色々な活動も続けることができないですからね。

Q 今後の挑戦や展望について教えてください。

新川 「こうなりたい」というものをみんなで作ることですね。幸運にも、経済産業省やJR西日本の方々ともまちづくり事業に取り組むことができていますので、ビジョンだけで終わるのではなく、色々な方からの知見やつながりをお借りして、実行レベルまで進めていきたいですね。地域の人たちの思いと自分たちの思いが重なる部分を見つけてやっていきたいですし、活動を通じて、子どもたちから「やっぱり地元が好き」と言ってもらえる地域にしたいですし、反対に「二度と帰りたくない」と思われないような地域にしていきたいですね。

第4回定例会

(会期：令和5年12月4日～12月21日)

議決した案件

議案の内訳

- 条例案…6件 ●予算案…7件 ●承認案…1件 ●その他…16件
- 委員会提出議案…1件
- (●全会一致可決…30件 ●賛成多数可決…1件)

議案の審査経過

表決が分かれた案件の表決結果

議案番号 ▼	会派名	清新の会							創志会					市民クラブ				未来の風				公明党			創生会			日本共産党	真政倶楽部			
	議員名	上岡 裕明	大下 博隆	田坂 武文	貞岩 敬	北林 光昭	重森佳代子	乗越 耕司	上田 秀	向井 哲浩	中曾 久勝	岡田 育三	玉川 雅彦	奥谷 求	小池恵美子	落海 直哉	景山 浩	中川 修	石原 賢治	鍋島 勢理	木村 輝江	山田 学	鈴木 英士	下向智恵子	原田 栄二	坂元百合子	片山 貴志	岩崎 和仁	牧尾 良二	谷 晴美	宮川 誠子	
議案第188号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○

※「議」は議長「○」は賛成「×」は反対

【表決が分かれた議案名】

議案第188号 令和5年度東広島市一般会計補正予算（第7号）

議案書、提出議案説明書など、本会議資料は、こちらのQRコードからご覧いただけます。



〈議案第187号〉

東広島市使用料条例の一部を改正します

○改正の理由

西条中学校屋内運動場に空調設備を設置し、また、志和中学校にテニスコートと、その照明施設を設置することに伴い、これらの施設設備の使用料を新たに定めます。また、安芸津中学校屋内運動場の冷暖房を使用する場合に加算する使用料の額を、空調設備の更新に伴い、更新後の設備のガス代等の実績から積算した額に引き下げます。

○改正の内容

- ・西条中学校屋内運動場の冷暖房を使用する場合の1時間当たりの使用料の加算額を新たに800円と定めます。
- ・安芸津中学校屋内運動場の冷暖房を使用する場合の使用料を1時間当たり7040円から1500円に改定します。

・志和中学校テニスコートの照明施設の使用料を次の表のとおりとします。

施設名及び区分		使用時間	使用料
照明施設	北側2面	1時間につき	200円
	南側1面	1時間につき	100円

○施行期日

令和6年4月1日等

委員会での主な質疑

Q 安芸津中学校屋内運動場の改定前の冷暖房使用料7040円はどういう積算で設定されていたのか。

A

市町村合併時に旧安芸津町から引き継いだものであり、詳細な資料は残っていないが、おそらく減価償却費や施設の整備費等が含まれていたものと思われる。学校施設の使用料は実費負担を原則としているため、実際の電気・ガス料金から積算した使用料に改定するものである。

Q

安芸津中学校屋内運動場の冷暖房使用料が西条中学校に比べて倍近く高いのはなぜか。

A

西条中学校は都市ガス、安芸津中学校はプロパンガスを使用しており、契約単価の差が使用料に影響している。

Q

現在の積算方法では、地域によって格差が生じることになる。市内のどこの地域であっても同じように施設を使うことができよう、使用料を平準化すると

いう考えはなかったのか。

A

学校施設の目的外使用に係る使用料については、これまで施設ごとに実費を徴収するという考えで積算しており、市内で一律の額に平準化するという考え方はしていない。使用料条例の考え方の根本に関わる問題であり、市全体として議論をしていく必要がある。

質疑を受けて執行部から示された検討事項

- ・本案の使用料改定とは別に、数年ごとに使用料・手数料を全庁的にチェックして見直していくことをルール化すること。
- ・実費相当額を使用料として徴収する施設を地域共生社会の実現に資する目的で使用する場合には、減免対象の拡大を検討していくこと。

〈議案第188号〉

令和5年度一般会計補正予算(第7号)を可決しました

新型コロナウイルスワクチン接種事業の延長に要する経費の追加や、デジタルものづくりイノベーション拠点整備への支援の追加、人事院勧告に基づく給与改定などを行うため、歳入歳出の総額に16億

2668万5千円を追加し、補正後の総額を1005億5835万8千円とする令和5年度一般会計補正予算(第7号)を可決しました。

補正予算(第7号) 補正額 16億2,668万5千円

●新型コロナウイルスワクチン接種事業を延長します。

- ・新型コロナウイルスワクチン接種のための委託料の追加
1億5,005万円

●広島大学を中心に整備が進む「広島大学デジタルものづくりイノベーション拠点」の支援並びに技術者育成により、本市の主要産業である自動車産業の振興を図ります。

- ・広島中央サイエンスパークに立地する拠点施設の整備費の追加
3億8,000万円
- ・EV化に関する主要技術等についての研修費の追加
300万円

●人事院勧告等に伴う人件費の増額 1億9,215万9千円

●※コンベンション機能を備えた都市型宿泊施設等について、将来都市像を踏まえた需要推計を行うとともに、立地可能性のある施設機能等について調査します。

- ・都市型宿泊施設等に対するニーズ、※サウンディング調査、経済波及効果等
500万円

●東広島こい地鶏の安定的な生産販売体制を構築するため、東広島こい地鶏推進協議会を再編強化し、民間事業者だけで自走できる体制が構築できるまでの間、限定的な支援を行います。

- ・種鶏場の経営安定化支援、飼育管理の保全等に関する費用の追加
289万4千円

委員会での主な質疑



都市型宿泊施設等の立地可能性を調査する経費について、過去に誘致を断念した経緯がある中、なぜこの段階で補正予算に計上することとしたのか。



市内半導体産業を中心とした宿泊ニーズに変化があったことに加え、市内のコンベンション機能を有した事業所が令和5年11月に閉館し、地域経済への影響を見据え早期に対応を行う必要があったためである。

本会議での討論



一般質問でも子育て支援の充実を求める声や農業従事者への支援策を求める声が出てきている。過去に公設民営のホテル計画を断念した経緯もあり、民間でできることは民間に任せ、市は率先して福祉の増進を講じるべきだと考え、反対する。

※コンベンション
サウンディング調査

会議や集会、見本市などを指し、一般的に国際会議など大規模なものをいう。公募により民間事業者から広く意見や提案を求め、事業への有用な意見やアイデアを収集することを目的とした、民間事業者と市との直接の意見交換による調査のこと。対話型市場調査ともいう。

〈議案第194号〉

東広島市国民健康保険税条例の一部を改正しました

地方税法の一部改正に伴い、新たに国民健康保険の出産被保険者が負担する所得割額・被保険者均等割額の減額措置などを行います。

◎改正の内容

○減額の内容

- ・ 出産被保険者について算定した所得割額の12分の1の額に産前産後月数を乗じて得た額を減額します。
- ・ 所得割額と同様に被保険者均等割額も減額します。
- ・ 減額対象は、令和5年11月1日以降に出産または出産予定の国民健康保険被保険者で、単胎児（胎児が一人）の場合は出産日または出産予定日の前月から4カ月間、多胎児（胎児が二人以上）の場合は3カ月前から6カ月間が減額となります。

○出産被保険者についての届出

- ・ 出産被保険者が世帯に属する場合には、納税義務者と出産

被保険者の氏名、住所、生年月日、個人番号、出産の予定日、単胎妊娠・多胎妊娠の別等を記載した届書を市長に提出しなければならぬこととします。

○施行期日

令和6年1月1日

委員会での質疑

Q

改正に伴うシステム改修はどのようになるのか。

A

既に予算は補正済みであり、国からの資料を基にシステム改修の手続きを完了している。

〈委員会提出議案第7号〉

政府・国会に意見書を提出しました

子どもの命と安全を守ることのできる保育環境を構築するため、保育所等保育施設の職員配置基準の改善等を求める意見書を政府・国会に提出しました。

意見書の全文

保育所等保育施設の職員配置基準の改善等を求める意見書

子どもは、他の何ものにも代えることのできない大切な存在である。

しかし、近年、公立・私立に関わらず保育施設において、子どもの尊い命が失われるという事態が生じている。もはや子どもの命と安全が危機的な状況にあると言わざるを得ない。

保育施設での重大事故は、保育士や事務職員等の人員不足が大きな原因であることは明らかである。

保育所持機児童問題が発生し、保育施設が急増した一方で、仕事の量や責任に比べて処遇が低いことで人が集まらず人員不足が一層深刻化しており、一人ひとりの保育士の努力で保育の質を維持することは限界にきている。

コロナ禍の中、保育の質の維持・向上に神経を使い、心をすり減らしながら精一杯働く保育士等職員が疲弊し職場を去ることのないよう、適切な配置基準に改善することとあわせて、安心して働き続けることのできる処遇に速やかに改善することが必要である。

子どもの命と安全を守ることができずに輝かしい未来は存在しない。

よって国会及び政府におかれては、保育士の保育施設配置基準を少なくとも先進国並みの配置基準とすることに加え、保育士等の処遇を改善すべく、以下の措置を講じられるよう強く要請する。

- 1 保育士の配置基準を改善すること。
- 2 保育士・放課後児童支援員等の処遇を改善するために必要な財源を確保すること。

○提出先

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、厚生労働大臣
文部科学大臣、内閣府特命担当大臣（こども政策 少子化対策）



なべしま せり
鍋島 勢理
(未来の風)

質問した項目

- 地域共生社会の実現に向けて
- 若い世代の移住について

鍋島議員の
一般質問
全編映像は
こちらから



やさしい日本語で 地域共生を目指す

質問

本市では、115の国や地域の外国人、約8700名が市民として暮らしている。日本語を話す人なら誰でも少しの工夫でできる「やさしい日本語研修」を市職員の接遇研修として実施することについて見解を伺う。

答 弁／中村生活環境部長

コミュニケーションをとるうえで国籍や年齢を問わず、来庁された方にわかりやすい説明をすることは接遇の基本と認識している。今後、新規採用職員においても採用時の接遇研修等でやさしい日本語を取り入れるなど、引き続き、職員全体への普及促進に努める。

若い世代がUターン しやすいまちに

質問

全国各地から本市への移住・定住の促進を図っているが、今後Uターン施策を手厚くすることが効果的だと考える。Uターン施策の重要性と、子育て世代に特化した支援の必要性についての認識を伺う。

答 弁／高垣市長

将来にわたって持続可能な地域社会となるためには、移住・定住施策の中で、Uターン希望者に着眼した施策は大変重要であると考えている。子育てや教育の取組みの更なる充実を図ることで、Uターンにとどまらず、幅広い子育て世帯から選ばれる都市を目指す。



おかだ いくそう
岡田 育三
(創志会)

質問した項目

- アリゾナ州立大学等への視察調査団派遣について
- 市職員の地域貢献について
- 市内主要道路の交通渋滞について

岡田議員の
一般質問
全編映像は
こちらから



アメリカへの視察調査団 の派遣について

質問

高垣市長をはじめとする視察調査団がアリゾナ州立大学等への視察を行われたが、その成果を今後のまちづくりの方向性や施策にどのように反映されるのか、また現地での気づきや所感について伺う。

答 弁／高垣市長

訪問した各地域は、国際的企業が立地していることや大学がまちの発展の中心的な役割を果たしていることなど、本市と非常に類似する点があり、本市の今後の発展の可能性を強く感じた。本市の最重要産業となりつつある半導体産業への支援施策に、引き続き国や県と連携して取り組むとともに、

市職員の地域貢献に ついて

質問

住民自治協議会や自治会など地域活動での後継者不足は深刻であり、市職員が日頃から地域に関わることが重要と考えるが見解を伺う。

答 弁／前延副市長

市職員が地域と関わりを持ち地域課題を踏まえ業務に取り組むことは重要と考えており、現在導入を検討しているフレックスタイム制で職員が地域活動に取り組みやすい環境づくりを推進していく。

※広島大学スマートシティ共創コンソーシアム

東広島市、広島大学と賛同企業が参画し設立した共同事業体。民間企業と行政が連携しながら、広島大学東広島キャンパス及びその周辺エリアにおいて、スマートシティの形成につながる活動を行い、その成果を周辺地域に社会実装することでイノベーションを創出することを目的としている。



しげもり 重森 かよこ 佳代子
(清新の会)

質問した項目

- どうする？子育て支援の財源
- 「小中一貫教育」で過疎地域の活性化

重森議員の
一般質問
全編映像は
こちらから



子育ての無料化か？ 市役所第2庁舎建設か？

質問

①本市は国の制度に沿って無料化等の施策を進める方針だが、子ども医療費の助成は所得制限があるため、県内ワースト5の水準である。今後の取組方針を問う。②市役所第2庁舎（総事業費60～70億円）の大型公共事業が、市民の目に見えないところで進むのは納得できない。この事業費と維持管理費を小中学校の給食費（年間約8億円）に当てはめると、約10年間無料化が可能である。この二者択一を市民に問うてみてはどうか。

答 弁 川口副市長

多賀こども未来部長

①全国的な動向も注視しつつ、

豊栄小中一貫教育開始 特色ある英語教育を！

質問

豊栄小中一貫教育開始にあたり、学区外から通学したい「選ばれる学校」をめざすべき。特色ある学校づくりのためには、英語・理科の専科教員の増員、外国語指導助手（ALT）の専任配置が必要ではないか。

答 弁 市場教育長

英語教育では市費の外国語指導助手や支援員を、理科教育では観察実験アシスタントの配置を検討する。＊小中相互乗り入れ授業が可能となる体制づくりを進める。

＊小中相互乗り入れ授業

小中一貫教育の充実に向けて、小学校と中学校の教員に兼職辞令を発令し、小学校の教員が中学校で、中学校の教員が小学校で授業を行うこと。



はらだ えいじ 栄二
(公明党)

質問した項目

- 「インクルーシブ公園」について
- 「平成30年 豪雨災害」を振り返って

原田議員の
一般質問
全編映像は
こちらから



『※インクルーシブ公園』 について

質問

障がいのある子どもを持つ家族へアンケートを行い、その結果を受けて、配慮のいる子どもとご家族が公園で安心して遊べるようになるには周囲の理解と公園整備が必要だと考えている。『インクルーシブ』を広く普及していくための本市の取組みを伺う。

答 弁 福光健康福祉部長 竹江都市部長

インクルーシブな社会を実現するためには障がいへの理解を進め、障がい者の意思疎通手段を確保し、障がいの有無に関わらずコミュニケーションが図れるように環境の整備することが肝要と考える。公

『平成30年 豪雨災害』 を振り返って

質問

自然災害をなくすことはできないが被害を最小限にすることはできる。過去の教訓を活かし、見つめ直す良い機会である。本市は『これからの災害に強いまちづくり』を掲げているがその取組みを伺う。

答 弁 高垣市長

『自助・共助・公助』を底上げし、災害死ゼロに向けて取り組む。具体例として安芸津地区では災害時に港を支援物資輸送や生活支援、救援輸送の拠点として活用する国の「命のみなとネットワーク」の構築に向け協議をしている。

※インクルーシブ

「全てを包み込む」、「包括的な」という意味で、障害の有無や性別、人種など様々な違いによって排除されないこと。



しもむかい ちえこ
下向 智恵子
(公明党)

質問した項目

- 次元の異なる少子化対策について
- 女性が安心して働けるための支援について

下向議員の
一般質問
全編映像は
こちらから



「こども未来戦略方針」 本市の取組みは？

質問

- ①乳幼児等医療費支給制度の対象を通院・入院共に高校生まで引き上げ、所得制限を撤廃してはどうかと考えるが市の所見を伺う。
- ②本格実施が予定されている「※こども誰でも通園制度（仮称）」についての準備状況を伺う。

答 弁／高垣市長

①医療制度は本来、国の責任において方向性が定められるべきであり、住む場所で子どもの医療に差が生じないよう、今後も全国一律の制度創設を国に働きかける。

②現段階でこども誰でも通園制度に対応できる保育施設は限られている。引き続き、保育士確保に

更年期・尿もれに悩む 女性たちへの支援を

質問

尿もれなどの更年期症状に悩む女性への相談体制を整備し、支援することが必要と考えるが、市の所見を伺う。

答 弁／福光健康福祉部長

出前講座で市内事業所を訪問した際に聞き取りを実施するなど状況把握に努めており、広く健康に関して電話や窓口等での相談対応ができる体制を取っている。このほか、広島県が設置する「性と健康の相談センター事業」の相談窓口の周知を図っていく。

※こども誰でも通園制度

保育所等に通っていない子どもを含め、全ての子どもの育ちを応援し、全ての子育て家庭に対する支援を強化することを目的とした制度。国が想定している要件は、対象を生後6か月から満3歳未満の児童とし、実施事業者と保護者との直接契約により、1人あたり月10時間まで利用できるとされている。



むかい てつひろ
向井 哲浩
(創志会)

質問した項目

- 維持修繕及び改良工事要望について
- 地理的表示（GI）保護制度について
- 本市の交通安全対策について

向井議員の
一般質問
全編映像は
こちらから



維持修繕及び改良工事 の要望について

質問

平成30年以降の災害復旧について、今年度中に完了させる目標を掲げられる中、災害以外の維持補修の要望も多数上がっていると聞く。平成30年前後の維持補修及び改良工事の要望について、優先順位はどのように整理され、今年度における進捗率はどの程度か。

また、整理された要望箇所及び計画等の進捗状況は地元要望者に対して説明が必要と思うが、どのように対応しているのか伺う。

答 弁／阪垣建設部長

道路や河川の要望案件のうち、維持・補修系のもは緊急性が高いものが多いことから、即時対応

に努めている。一方、改築・改良系のものについては、地域との協議・調整を伴うほか、工事規模が大きくなるため、事業化に向けて一定の時間を要する。そのため、災害復旧の影響により一時期、進捗調整を行ったものの、要望案件の優先度に平成30年前後で変更はない。

本年度の維持・補修の進捗率は、約2800件の通報・要望のうち緊急性の高いものから対応を済ませており、着手に時間を要する案件を除き、約71%と、例年並みの進捗である。

地元要望者に対する経過説明などが十分できていないため、より丁寧な説明と経過報告を心掛けるとともに、接遇面を含めた職員の説明力強化の研修を実施する。



さかもと ゆりこ
坂元 百合子
(公明党)

質問した項目

■道路の維持管理について

坂元議員の
一般質問
全編映像は
こちらから



景観まちづくりについて

質問

第五次東広島市総合計画に目指す姿として掲げられている、郷土への誇りや愛着が育まれる良好な景観が形成できているのか伺う。

答 弁／阪垣建設部長

良好な景観は、暮らしに豊かさとするおいをもたらし、地域への誇りと愛着を感じさせ、まちの個性を育み、地域に活力を与えるものである。そのため、市民一人一人が豊かな自然環境を認識し、都市や地域の景観に対して親しみや心地よさを創出するような景観形成が必要であると認識している。

市民や事業者等と景観形成の目標を理解・共有しつつ、互いに連携して取り組むことで、良好な景

景観計画の策定について

質問

地域の特徴ある景観を守り・つくり・育むためにも「景観まちづくり」は今後ますます重要と考えるが、本市としては景観計画の策定について、どのように考えているか伺う。

答 弁／竹江都市部長

現時点で、市全域を対象とした景観計画を策定する方向性には至っていないが、市全体の景観に関する機運の高まりに応じて、本市の景観形成についてどうあるべきかを考えていく。



きむら てるえ
木村 輝江
(未来の風)

質問した項目

■居住支援について

木村議員の
一般質問
全編映像は
こちらから



住まいがない！相談調整機能の強化が急務

質問

子育て中のひとり親家庭や単身高齢者などの住宅確保要配慮者に該当する方々は入居を拒まれることが少なくない。住まいに関する支援制度の周知の状況は？

答 弁／高垣市長

市営住宅や住居確保給付金などの施策については、適宜、広報紙、ホームページなどへの掲載により周知を行っている。

市民に寄り添うため、住宅施策に横串を！

質問

住宅確保要配慮者は、住まいの問題だけではなく複雑で複合的な

課題を抱えている場合がある。行政の喫緊の課題は、縦割りになりがちな行政に横串を通した包括的な支援体制の構築だと思う。官民協働、部局横断的な支援を提供する機能を持つ組織である居住支援協議会を立ち上げないか？

答 弁／高垣市長

住まいを含めた様々な課題に寄り添い伴走的な支援を継続していくことが重要だと考えており、住宅施策と福祉施策で連携をとりながら必要な支援を行っている。広島市では平成30年に官民連携の、廿日市市では令和5年3月に不動産関係団体と居住支援団体の連携のもと、市独自の居住支援協議会を設立している。本市においても、このような取組みについて研究をしていく。



かげやま ひろし
景山 浩
(市民クラブ)

東広島市の汚水処理 施策及び事業について

質問

浄化槽等の負担額を公共下水道の使用料に合わせ、居住地による負担額の差を無くす施策が必要ではないか。また、人口減少社会を迎えるなか、下水道使用料の値上げを抑制するための広域化及び民間活力導入の方針について伺う。

答 弁／前延副市長

市街地では都市計画税の一部が公共下水道の整備の財源となっていることなど、費用負担の構造も異なっていることから、負担額の統一は難しいと考える。下水道事業の広域化、共同化については、広島県・県内市町との協議の場引き続き参加する。民間活力

質問した項目

- 本市の汚水処理施策及び事業について
- 地域の魅力を向上させるための社会資本の整備手法について

景山議員の
一般質問
全編映像は
こちらから



の導入については、民間提案の受付を開始したが、応募はまだない状況のため、先進事例の情報収集に努める。

地域の魅力を高める 社会資本整備について

質問

市内9圏域の地域別アクションプログラムには、人と人が触れ合うための新たな仕掛けがなければならぬと考える。今後どのように取り組んでいくのか。

答 弁／高垣市長

地域住民の理解を得ながら、広範囲に取組みを拡げていく必要がある。地域に身近な支所及び関係部局が連携して生活圏の拠点を作り、生活関連サービスの充実によりコミュニティを維持していく。



こいけ えみこ
小池 恵美子
(市民クラブ)

学校現場におけるジェンダー平等について

質問

※ジェンダーギャップの解消に向けて、教育にできることも多くあると言われている。男女混合名簿もその一つである。それを踏まえ、男女混合名簿を採用している学校数と、未だ不採用の学校の対応状況を伺う。また、教職員への研修・啓発の状況を伺う。

校則をめぐる問題が不登校の原因となった小中高生は年間五千人を超えている。合理性について議論されないまま従う・従わせるということは、主体的に考える機会を失わせていると思う。ジェンダーギャップの解消に向けて、校則や制服のあるべき姿をどう考えるか伺う。

質問した項目

- 带状疱疹とワクチンについて
- 学校現場におけるジェンダー平等について
- 行方不明認知症高齢者問題について

小池議員の
一般質問
全編映像は
こちらから



答 弁／市場教育長

今年度から中学校1校、小学校2校が男女混合名簿を採用しており、他の学校でも採用を検討している。昨年度、全ての教職員を対象に「※LGBTQの現状と学校が取り組むべきこと」と題した研修や、ジェンダーギャップを解消するための研修を行った。

校則や制服のあるべき姿については、令和4年4月にガイドラインを策定した。その中で、学校を取り巻く社会環境や児童生徒の状況は変化していることから、校則の内容が児童生徒の実情、保護者の考え方、地域の状況、時代の進展などを踏まえたものとなっているか、絶えず積極的に見直すよう示している。

※ジェンダーギャップ 男女の違いにより生じる様々な格差のこと。
LGBTQ 「性的少数者」を表す言葉の総称で、「レズビアン（女性同性愛者）」、「ゲイ（男性同性愛者）」、「バイセクシュアル（両性愛者）」、「トランスジェンダー（性別越境、性別違和）」、「クエスチョニング（自分自身のセクシュアリティを決められないまたは決めない人）」の頭文字をとって組み合わせた言葉。



なかがわ おさむ
中川 修
(市民クラブ)

質問した項目

- 子育てしやすい東広島市について
- コミュニティスクールについて

中川議員の
一般質問
全編映像は
こちらから



※コミュニティ・スクールの構築について

質問

北海道安平町の早来学園では学校施設を活用して、地域活動ができるようになってきている。本市では制限が掛かることもあると思うが、コミュニティ・スクールの発展形として地域と学校が一体となるというお考えについて所見を問う。

答 弁／江口学校教育部長

これからの学びには、地域の方々と創造的な活動を行う共創空間が重要と考えており、紹介の事例は参考となるものである。学校施設によってはその確保ができない場合もあるが、改善を図りながら、コミュニティ・スクールが学校・地域の課題解決につながるよ

う持続可能な取組みにしていきたい。
子育てしやすい東広島市について

質問

「※育休退園廃止」を実現するために、保育士確保について本市も様々な施策を講じていることは承知しているが、現在保育士として働かれている方に長く勤めていただくための施策について問う。

答 弁／多賀こども未来部長

現在本市では、私立の保育施設に就職した保育士に対し、応援給付金を交付している。また、在職期間中に毎月一定額の職務奨励費を受け取ることができるよう保育施設を通じて支援しており、保育士の給与を改善することで、就労継続のインセンティブとしている。

※コミュニティ・スクール 学校運営協議会制度。学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」への転換を図るための有効な仕組み。
育休退園 2人目以降の子どもが生まれた保護者が育児休業を取る場合、保育所に通う年上の子どもを退園させる必要がある制度のこと。



たまがわ まさひこ
玉川 雅彦
(創志会)

質問した項目

- 本市における農業の方向性について
- 本市における介護人材確保について

玉川議員の
一般質問
全編映像は
こちらから



本市水田の畑地化促進事業の取組みについて
本市における介護人材の早期確保について

質問

農林水産省は、水田の畑地化・汎用化のための基盤整備等を計画的に推進しているが、本市は、水田の「畑地化促進事業」について、どのように考えているか伺う。

答 弁／高垣市長

「畑地化促進事業」は、畑作物の生産を予定している農家にとって期待は高いが、運用面の課題や継続的な支援を求める声などもある。こうした地域の農業の実情を真摯に受け止め、取り組む農家が着実な支援を受けられるよう、国・県に対し、適切な運用を求め、地域の農業者の声を届けていく。

質問

厚生労働省は海外から介護人材を呼び込む支援策を広げており、令和6年度予算の概算要求に関連制度の補助率を引き上げること盛り込んでいるが、本市における来年度以降の事業の拡充や支援策について考えを問う。

答 弁／福光健康福祉部長

外国人介護人材の受入れに当たっては、介護技術や日本語の教育、日常生活や文化面への配慮など、介護事業所が取り組まなければならないことが多くあるため、本市では来年度以降も、受入れに対する研修や雇用経費、日本語学習への支援等の施策を検討する。



やまだ まなぶ
山田 学
(未来の風)

質問した項目

- *mRNAワクチン接種について
- 情報発信について
- 市民の健康保護について

山田議員の
一般質問
全編映像は
こちらから



ワクチン後遺症の 本市独自の情報発信を

質問

ファイザー社は新型コロナウイルスワクチン接種後に起こりうる1291種類の有害事象を公式に発表した
が、市民の多くは後遺症について
具体的な症状を知らない。手のし
びれ等、市民から接種後の後遺症
を疑う相談を受けるが、情報が十
分に伝わっておらず、多くの方は
後遺症を疑うことが出来ない。本
市独自の情報発信は可能か。

答 弁／福光健康福祉部長

市は、広島県が設置する副反応
疑い症状を示した方への相談窓口
や専門医療機関を円滑に受診でき
る体制の情報をホームページで発
信するとともに、情報元のリンク

ホームページ掲載以外 の情報発信について

質問

後遺症に関する情報はホーム
ページ掲載によるものが多いが、
インターネットが使える人でない
と命に関する情報が入手できない
のは問題である。チラシ配布など、
ワクチン後遺症に関する紙媒体で
の情報の発信が必要と考えるが、
見解を伺う。

答 弁／福光健康福祉部長

令和6年度に新型コロナウイルス
スワクチンが定期接種となった際
には、予防接種の副反応等を掲載
したチラシを製作し接種希望者に
対して渡していく。

※mRNAワクチン

ウイルスが細胞に侵入する際のスパイクと呼ばれるタンパク質を設計する遺伝子情報（mRNA）を投与するワクチンのこと。このタンパク質が免疫反応を誘導して、体内でウイルスに対する抗体を作る。



かたやま たかし
片山 貴志
(創生会)

質問した項目

- 令和6年度予算編成方針について
- 人材確保策について

片山議員の
一般質問
全編映像は
こちらから



持続的発展の好循環に おける現状と課題

質問

物価高騰の影響が長期化する厳
しい社会情勢において、今後の持
続可能な財政運営を目指し、持続
的発展の好循環を達成する上での、
本市の現状と課題を問う。

答 弁／高垣市長

これまでの企業の誘致・留置に
向けた取り組みの継続が市税収入の
安定に寄与しており、都市インフ
ラや教育環境の充実等の成長に繋
がる投資が可能となっている。た
だし、人口減少地域もあり、地域
の特性を活かしたまちづくりが必
要である。「生産活動の活性化」「所
得の向上」「消費の拡大」の3つ
の視点から効果的な事業を推進し、

保育士の人材確保策に ついて

質問

保育士不足が指摘される本市で
は、潜在保育士の発掘などの施策
を展開しているが、解決に至って
いない。これまでの施策の成果及
び今後の施策について問う。

答 弁／多賀こども未来部長

保育士は着実に増加しているが、
3歳未満の児童の保育ニーズや支
援を必要とする児童の増加等によ
り全ての方のご要望に応えられて
いないと認識している。今年度か
ら拡充した施策効果により問い合
わせも増えていることから、まず
はこれらを積極的にPRしていく。



みやかわ やすこ
宮川 誠子
(真政倶楽部)

質問した項目

- 自殺対策は対症療法ではなく本質的に捉える必要がある
- 観光について

宮川議員の
一般質問
全編映像は
こちらから



戦後失われた日本人の根っこを取り戻す

質問

日本の若者の死亡原因のトップ

は自殺だ。故郷を尊敬できない人間は弱い。そこから生まれた自分の価値もわからないからだ。日本は侵略戦争を行ったと言われるが、当時のアジアはほぼ西洋列強の植民地だった。15世紀以来、白人は世界征服を行っており、欧州の握りの国が世界を支配していた。日本はアジアから白人を追い出した。多くの日本兵が終戦後も帰国せず各国の独立戦争を戦い、アジアの解放を勝ち取った。正しい歴史を教えて日本人の根っこを取り戻す必要がある。所感を伺う。

答 弁／市場教育長

我が国の歴史や伝統文化の学習を充実させ、自分自身や家族が生きる郷土や国に誇りを持ち、社会の創り手として逞しく生きていく子どもたちを育てたい。

安芸津の景観を活かす観光政策について

質問

安芸津の一番の観光スポットは保野山の中腹から見下ろす三津湾の風景だと確信しているが、現在の道路事情は最悪である。この中腹に道路を一本通せば、放つおいても観光名所になるし周辺の開発にもつながる。市長の英断を望む。

答 弁／高垣市長

過去の計画経緯を踏まえ、事業の可能性について研究する。



た さ か たけふみ
田坂 武文
(清新の会)

質問した項目

- 農業施策について
- 地方自治制度について
- 道路行政について

田坂議員の
一般質問
全編映像は
こちらから



不祥事やミスの再発防止について

質問

市職員の不祥事やミスの発生が何度も報告されている。再発を防止するためには、※内部統制制度を導入すべきではないか。

答 弁／高垣市長

業務手引きに基づく事務処理など、一定の統制機能を整えてきた。近年では、職員の価値判断基準となる行動理念の策定をはじめ、現職警察官の受け入れなどによる不当要求行為対策等の強化、弁護士による法的対応強化、職員のコンプライアンス研修、契約の適正な履行及び厳正な検査の実施など、内部統制制度以上の取組みも推進している。

環境に配慮した持続可能な農業について

質問

化学肥料や農薬の使用量を抑えて環境に配慮した食材を使用する※エシカル給食をモデルとして保育所で試行できないか。「安心！広島ブランド」認証制度の活用等によりエシカルな農業を普及促進すべきではないか。

答 弁／川口副市長

多くの保育所では地元産の食材の調達に努めており、エシカル給食を実践している。園芸センターでは「安心！広島ブランド」の基準を満たした試験栽培を開始した。その他、環境保全型農業直接支払交付金制度等の実施により持続可能な農業の発展に努める。

※内部統制制度

地方自治法に規定された制度で、地方公共団体における事務が適切に実施され、住民の福祉の増進を図ることを基本とする組織目的が達成されるよう、事務を執行する主体である長自らが、行政サービスの提供等の事務上のリスクを評価及びコントロールし、事務の適正な執行を確保するため、地方自治体の長が内部統制に関する方針の策定や体制の整備を行うもの。

もともとは「倫理的な」という意味の形容詞で、人や社会、地球環境、地域に配慮した考え方や行動のこと。

市議会行政視察 海外に学ぶ

インドの理工系教育や多言語教育、本市の産業進出の可能性等について調査を行うため、インドのベンガルールに駐在する教育機関、日本企業及び行政機関等への視察を行いました。

『令和5年度海外都市行政視察報告』

参加者 田坂武文 景山浩 坂元百合子

日程 令和5年11月20日～11月24日

視察先 インド共和国（ベンガルール）

は初年度から400～500万円の年収で採用しており、会社を退職しての起業やヘッドハンティングも日常的に起こり、雇用は流動的であるため、そこに対応できない限り、不足する高度IT人材を遠くインドから日本に求めるには高いハードルがあると感じました。

また、インドへの日本酒の輸出時の関税が200%かかるため、高価な商品となり、今のところ富裕層向けとなっている現状も伺いました。

視察事項…ベンガルールでのIT人材確保及び市内企業の現地進出の可能性

■日本貿易振興機構（JETRO）
ベンガルール事務所

JETROは、日本の貿易振興に関する事業の実施とアジア地域等の経済・諸事情の調査を活動の目的としています。

インドでのスタートアップを目指す起業家が相次ぎ進出する

ベンガルールの現状や文化、商慣習等の違いから生じる課題について聞き取りを行いました。

また、高度IT人材雇用の可能性や日本酒をはじめとする本市産品の市場としての可能性を探りました。

IT人材のリクルートに関しては12月1～3日の3日間という短期間で企業の採用が決まってしまうという就職制度の違いがありました。また、高度人材



JETROベンガルール事務所



みずほインド日本研究センター

視察事項…日印間の学生交流の現状と今後について

■みずほインド日本研究センター

インド経営大学院ベンガルール校は、難関試験を突破したインド各地からの学生が学ぶ名門校です。大学院内に設立された「みずほインド日本研究センター」は、両国間の政治・経済・文化等の各分野の相互研究を通じて理解を深め、両国間のビジネスマッチングの実現によって、社会的結びつきを深めていくための知的サロンとなっています。

現在、学生間の交流に関しては、東京大学をはじめとする6校の大学院と交流を行っています。日本の学部生にも裾野を広げる計画をもっており、海外の大学と単位互換プログラムに取り組んでいる広島大学とも連携されると、さらに広島大学の交換プログラム内容が充実することが期待されます。

■アンソニー・クラレット・スクール

視察事項…インドにおける理数系、多言語及び多文化共生教育について

2007年に設立されたカトリック系の私立学校で、保育所、幼稚園から小・中・高、4年制の大学まで約一万人が学んでおり、東広島市の子どもたちと定期的な相互交流を実施しています。

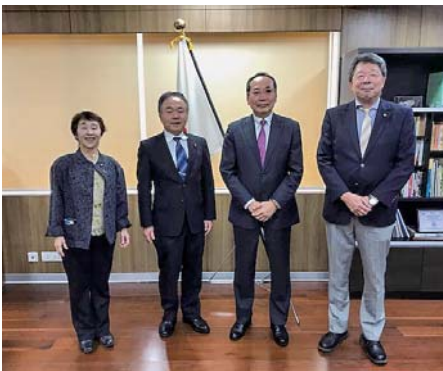
先生と生徒の双方向で進められる授業スタイルで、「良い教育を受けないと人生が開かれない」という社会の意識が強いためか、子どもたちの積極性と眼の輝きが印象的でした。30までの数を片手で表すこと、2桁の九九ができることなどは、学習というよりも幼少期から自然と備わっているものという印象を受けました。

多言語教育においては、準公用語である英語で授業が行われますが、ヒンディー語及び現地の母語であるカンナダ語も授業

に取り入れられており、自然な形で多言語を話せる環境があります。日本においても、できるだけ子どもの発達段階早期に多言語教育に取り組む必要性を感じました。



アンソニー・クラレット・スクール



在ベンガルール日本国総領事館

■在ベンガルール日本国総領事館

ベンガルールに滞在する日本国民の保護やビジネスの推進、ビザの発行等を行う公館です。視察にあたつての多大なご尽力に対するお礼のために訪問しました。

日本企業がインドに進出する際の基本認識として、まずインドで現地雇用する従業員は、賃金を比較して簡単に転職する傾向にあること、インド人は会話において大袈裟に表現する傾向があること、根回しを行いつながら確実に物事を進める日本方式は、インドで通用しないため気を付けておかないといけないこと、インドで信頼のおけるパートナーをまず見つけることが重要とのアドバイスをいただきました。

対日感情が良く、人柄も穏やかで、治安も一部地域を除けばそれほど悪くないので、互いの違いを理解しながら、うまく付き合っていけば問題はないとおっしゃっていました。

■全体を通じての所感

前述のほか、中外テクノスインド有限会社、ベンガルール市役所、ヴィシユヴェシユワラヤ産業技術博物館を視察し、貴重なお話を伺いました。

インドは、2026年には日本を抜いてGDPが世界第4位となることが予測されており、平均年齢も28歳と若く、今後グローバル・サウスの盟主となり、世界もそして日本も注目すべき国になることは間違いないと思われます。

今回の視察は、国の違いによる様々な考え方や制度の特色に関して多くのことを学ぶことができました。多角的な視点を持つことの重要性を再認識しましたので、日印両国間の国際交流の推進も含め、今後の議員活動に活かしてまいります。

最後にアンソニー・クラレット・スクール視察の手配をはじめ、インド訪問についての指南役を務めてくださった本市在住のジョーセフ・ジェームス様に感謝申し上げます。

※グローバル・サウス アフリカやアジア、中南米等広い地域の新興国や途上国等を指すもので、経済が急速に成長し、先進国と対等な関係を望んでいる国が多く、国際社会での発言力を強めている。

東広島市議会活動レポート

議会報告会を開催しました

市民の皆様のお声を議会活動に活かしていくため、
第1部で市議会議員が日頃の議会活動内容の報告を行い、
第2部で皆様との意見交換会を行いました。

議会報告会の報告書はこちらからご覧ください。



総務委員会議会報告会

- ◆開催日：令和5年11月8日、9日
- ◆開催場所：道の駅湖畔の里福富ホール
豊栄生涯学習センター

第一部の議会報告では、令和5年度予算の概要と、福富地域・豊栄地域での地域別計画を推進するための予算について報告しました。

第二部では第一部で報告した「令和5年度予算について」をテーマとして、グループに分かれて意見交換を行い、農林水産業や公共交通、地域医療などの課題について、地域の方々から多くのご意見をいただきました。



文教厚生委員会議会報告会

- ◆開催日：令和5年11月14日、15日
- ◆開催場所：志和堀地域センター
八本松地域センター

「健康増進と福祉について」をテーマに、第一部の議会報告では、主に「元気輝きポイント制度」について事業内容の説明と制度に関する議会での質疑の内容を報告しました。

第二部では、グループに分かれて意見交換を行い、敬老会の運営や公共交通、医療費の膨張などの課題について、地域の方々から多くのご意見をいただきました。



市民経済委員会議会報告会

- ◆開催日：令和5年11月6日、10日
- ◆開催場所：黒瀬保健福祉センター
安芸津生涯学習センター

第一部の議会報告では、第五次東広島市総合計画の黒瀬地域・安芸津地域の地域別計画、アクションプログラムなどを報告しました。

第二部では「“こんな町になったらいいな”を教えてください」をテーマとして、グループに分かれて意見交換を行い、道路事情や農業、有害鳥獣などの課題について、地域の方々から多くのご意見をいただきました。



建設委員会議会報告会

- ◆開催日：令和5年11月7日、13日
- ◆開催場所：高屋西地域センター
三ツ城地域センター

第一部の議会報告では、八本松スマートインターチェンジや、そのインターチェンジの設置に併せて整備されるラウンドアバウト、市内の都市計画道路の整備などを報告しました。

第二部では第一部で報告した、「東広島市の都市計画について」をテーマとして、グループに分かれて意見交換を行い、道路や河川の整備、浸水対策などの課題について、地域の方々から多くのご意見をいただきました。



学生が感じる支え合い繋がる地域とは

やなだ ゆうた
柳田 結汰（西条町）

私は東広島市に住む大学生として地域の様々な活動に参加している。人々が出会い、手を取り合うことが地域への愛着を生み心の支えになっているところを目の当たりにしている。その中で、心の拠り所となり生きがいや強みを発揮し繋がり合う居場所が大切だと日々感じている。フレイル予防や子育て支援、子どもたちの学習の機会などは年齢問わず幅広い多様な関わり合いから生まれるだろう。しかし、学生が集い交流できる場所が不足していることや情報にあまりアクセスできていないことなど様々な課題を感じている。日常で地域社会と繋がり、人と人が愛され大切にし合える地域に学生は救われる。学生に優しい温かいまちを市民、社会福祉協議会、行政、市議会議員などみんなで作っていきたい。

市民の声

「The letter from a citizen」

中山間地域の害獣被害について

はしかわ のぶゆき
橋川 信行（福富町）

私は6年前に脱サラし実家だった福富町で米農家を営んでおります。子供の頃と比べると、東広島市内、広島市内へのアクセスが良くなり、田舎の不便さを感じることは少なくなったと思います。しかし、農業を行うにあたって感じる問題は、高齢化による離農者の増加、後継ぎ不足はもちろんのことですが、鳥獣による被害がかなり多いと思います。特に鹿は昼間でも多く見掛け、害獣対策の柵も軽く飛び超えてしまいます。現状では、経営規模を拡大するにしても、まずは害獣対策から考えないといけない状況です。もちろん、補助金や駆除対策の制度は活用していますが、もっと農家と地域と行政による様々な角度からの一体化した対策がなければ、この問題は解決に向かわないと考えます。

令和6年第1回定例会の日程

2月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9 本会議 (初日)	10
11	12	13	14	15	16	17
			常任委員会（議案審査）			
18	19	20	21	22	23	24
	常任委員会 (議案審査)	予算特別委員会		常任委員会 (議案審査)		
25	26	27	28	29		
	常任委員会 (議案審査)	本会議 (議案審査)	本会議 (代表・一般質問)			

3月

日	月	火	水	木	金	土
					1 本会議 (代表・一般質問)	2
3	4	5	6	7	8	9
	予算特別委員会					
10	11	12	13	14	15	16
	予算特別委員会					
17	18	19	20	21	22	23
	本会議 (議案審査)	予備日				
24	25	26	27	28	29	30

■委員会等の中継映像

本会議の様子はインターネット（YouTube）で生配信し、KAMONケーブルテレビで録画映像を放送しています。また、常任委員会や全員協議会等の様子も、インターネット（YouTube）で生配信しています。市議会ホームページからアクセスできますので、ご利用ください。

■本会議・委員会の傍聴、手話通訳

傍聴は当日議会事務局で受け付けます。手話通訳を希望される方は、希望日の3日前までに議会事務局にお申込みください。

ご不明な点は議会事務局（082）420-0966へお問い合わせください。

東広島市議会

検索





BRT(Bus Rapid Transit・バス高速輸送システム)

「まちのシンボル」ブルーボール沿線の交通渋滞の解消や、自家用車が運転できなくても（しなくても）便利で質の高い「生活や移動」ができるよう、東広島市では自動運転・隊列走行BRTの導入検討を行っています。人々の移動が増え、多くの出会いや交流がうまれる「住みたい、働きたい、学びたいまち」を目指します。

写真は右上から、先頭車と後続車が通信による自動運転を行っているところの外観・車内・運転席上部のモニター画面（テスト走行中）です。

市議会だより

■発行／東広島市議会
■編集／広報広聴委員会
〒739-8601
東広島市西条栄町8番29号
TEL.082-420-0966
FAX.082-424-9465
(議会事務局)

<https://www.city.higashihiroshima.lg.jp/shgikai/index.html>



■ご意見ご感想をお寄せください

市議会だより・東広島市議会ホームページ
に関するご意見ご感想は、東広島市議会事務局（左記）までお寄せください。

Editor's postscript

編集後記

新年度予算議会を控えて

選挙後3回の定例会を終え、いよいよ新年度予算を審議する議会が開会されます。

この間、視察研修で得た知見や議会報告会で市民の方々から寄せられた意見を基に代表質問・一般質問します。令和5年は終息の糸口が見えない戦争に心を痛める年ではありましたが、東広島市議会の

今年の論議が平和で希望に満ちたものとなるよう議員の力が試されます。議場モニターへのテロップ表示の環境も整備され始めています。どうぞ9階議場に立ち寄って生の声を聞いてください。

広報広聴委員会委員

谷 晴美